

母子総合医療センター新生児部門主催講演会のご案内

この度、東京女子医科大学母子総合医療センター新生児部門では、埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター新生児部門教授の側島久典先生と、イギリスのTranslational Neonatal Medicine, UCL Institute of Womens Healthのニコラ・ロバートソン教授をお招きして、新生児の脳損傷の評価や神経保護、さらに重症新生児仮死児に対する脳低温療法などについてお話して頂くように講演会を企画致しました。

両先生とも、最新の知見についてわかり易く説明して頂けると思います。折角の機会ですので、皆様お誘い合わせの上ご来場下さい。

なお、不明な点がありましたら、以下までご連絡下さい。

東京女子医科大学母子総合医療センター
新生児部門教授
楠田 聡

(連絡先)

東京女子医科大学母子総合医療センター
新生児部門

内山 温

Tel. 03-3353-8111, PHS:28862

E-mail: auchiyama12@boshi.twmu.ac.jp

記

日時： 平成21年10月30日（金） 18時30分～19時45分頃

場所： 総合外来センター 5階 大会議室（案内図は別紙参照）

講演会プログラム

1. 演題名：HIE予後マーカーとしての髄液NSEとaEEGモニタリング
演者： 側島 久典 先生
所属： 埼玉医科大学総合医療センター
総合周産期母子医療センター 新生児部門教授

2. 演題名：Advances in Neuroprotection of the Newborn:
Xenon and Hypothermia
演者： NICOLA JAYNE ROBERTSON
所属： Translational Neonatal Medicine, University
College London (UCL) Institute of Womens Health, London

以上

東京女子医科大学病院総合外来センター案内図

